

令和6年度 墨田区立中和小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 影山 祥仁

学校教育目標	歴史と伝統を受け継ぎ、教職員、保護者、地域社会が一体となって、さらなる発展を目指す。
目指す学校像	全教職員が家庭や地域との連携を図りながら、校外の教育力を効果的に活用し、質の高い教育活動を意図的・計画的・組織的に実施できる学校。
目指す児童像	自らの生き方を考え、自らの力で将来を切り開くために必要な学力、自他を大切にする優しさとレジリエンス、たくましい体と強い意志をもつ子供。
目指す教師像	教育目標の実現と教育課程の計画的実践に全力で取り組み、児童のよさや可能性を最大限に引き出し、伸長し、個々の将来につなげていくために、組織的に取り組める。

○令和6年度 学校経営計画における重点内容

- ・生涯学習の基盤となる確かな学力を身に付ける。校内研究の主題を念頭に置いた授業作りを行う。
- ・他者とのかわりを大切にした教育を推進し、そのための異学年交流や地域を巻き込み周年行事を行うことで、充実を図る。
- ・家庭・地域・学校のそれぞれが互いに連携し合い教育を進めることで、“チーム中和”を合言葉に、開かれた学校を経営盤に置き、協働して教育活動にあたる。

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標	評価	分析	改善方策	学校関係者評価					
				評価					自己評価	改善方策	意見等			
各教科指導等	○確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施する。 ①ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に迫る授業作りを行う。 ②モノグサアプリやミライシードの活用による基礎基本の学習の定着を図る。 ③自力解決的学習の充実を図り、児童の深い学びにつなげる。	①校内研究としてICTを活用した授業に取り組み、研究授業を年6回以上実施する。 ②ICTを活用した授業を全授業の80%以上で行い、学習内容の定着を図る。 ③話し合い活動では、ロイロノートを有効活用し、「主体的・対話的で深い学び」につなげる。	4	ICT活用授業の実施状況 90%以上	4	4	児童によるアンケート評価「よくわかる」の達成率 85%以上	3	・校内研究としてICTを活用した授業に取り組んだ。 ・ICTを活用した授業はできたが、内容の定着につながらない部分が見られた。	A	B	・ICT機器と紙の併用は良いと思うが、電子機器の使いすぎによる健康被害が心配である。そこに向けた方策を考えてほしい。		
			3	ICT活用授業の実施状況 80%以上									3	児童によるアンケート評価「よくわかる」の達成率 75%以上
			2	ICT活用授業の実施状況 70%以上									2	児童によるアンケート評価「よくわかる」の達成率 65%以上
			1	ICT活用授業の実施状況 70%未満									1	児童によるアンケート評価「よくわかる」の達成率 65%未満
	○特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等を行う。 ①個別指導や支援を必要とする児童への配慮を充実させる。 ②特別支援教育に関する、教職員の理解と知見を深める。	①月1回以上校内委員会を開催し支援を必要とする児童へ早期に対応策を練り、実施・評価・改善を行う。 ②年2回巡回指導講師による教職員対象の校内研修会を実施し、そよかぜ学級との交流授業を月1回以上行う。	4	校内研修会・交流授業の実施状況 100%	3	4	保護者による学校評価「子供の問題へ丁寧に対応」の肯定的評価 90%以上	3	・校内委員会を定期的に開催するだけでなく、必要に応じて開催し、課題解決に努めた。 ・年2回巡回指導講師による教職員対象の校内研修会を実施した。	A	B	・空き教室がない状況なのは承知しているが、トラブル等で子供が落ち着ける場所を確保してほしい。		
			3	校内研修会・交流授業の実施状況 85%以上									3	保護者による学校評価「子供の問題へ丁寧に対応」の肯定的評価 80%以上
			2	校内研修会・交流授業の実施状況 75%以上									2	保護者による学校評価「子供の問題へ丁寧に対応」の肯定的評価 70%以上
			1	校内研修会・交流授業の実施状況 75%未満									1	保護者による学校評価「子供の問題へ丁寧に対応」の肯定的評価 70%未満
	○教員の指導力・授業力向上のための、組織的な取組等を行う。 ①年3回ICTを活用した相互授業観察を実施し、「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を行う。 ②若手OJT研修を開き、各自の悩みや困難事項を交流し、同僚性を高める。	①年3回の授業観察を教員同士による相互授業観察として位置付け、自分以外の14名の授業を年間通して1回以上見る。 ②OJTの体制を主任教諭や主幹教諭と連携し整えていく。月1回以上、主任教諭主導のOJT研修を実施する。	4	相互授業観察・OJT研修会の実施状況 90%以上	3	4	教員アンケートの授業力向上につながった肯定的回答90%以上	3	・相互授業観察は時間のやりくりが難しく、なかなか1時間を通して見るができない。 ・OJT研修の体制はできているが、研修内容の決定に時間がかかる。	B	B	・働き方改革の重要性は理解しているつもりだが、児童と先生の距離感が離れないようにしてほしい。		
			3	相互授業観察・OJT研修会の実施状況 80%以上									3	教員アンケートの授業力向上につながった肯定的回答80%以上
			2	相互授業観察・OJT研修会の実施状況 70%以上									2	教員アンケートの授業力向上につながった肯定的回答70%以上
			1	相互授業観察・OJT研修会の実施状況 70%未満									1	教員アンケートの授業力向上につながった肯定的回答70%未満
生活指導等	○いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。 ①支援を必要とする児童を取り巻く児童に対する心の育成を強化し、いじめや差別のない学級・学年・学校づくりを目指す。	①児童一人一人の課題解決に向けて、毎週末の生活指導夕会にて児童の状況等について共通理解を図る。こころ部を中心に月1回はいじめや不登校の事案について確認し共通理解する。	4	生活指導夕会での協議・放課後話しタイムの実施状況 100%	4	4	児童アンケートの「学校が楽しい」項目の肯定的回答 90%以上	3	・話タイムは何気ない会話から、悩みを聞く事もあり、有意義な時間だが、形骸化も否めない。 ・ただ、校長室に来る児童もいるので、実施の価値はあると感じる。	A	A	・細やかな対応ありがとうございます。		
			3	生活指導夕会での協議・放課後話しタイムの実施状況 90%以上									3	児童アンケートの「学校が楽しい」項目の肯定的回答 80%以上
			2	生活指導夕会での協議・放課後話しタイムの実施状況 80%以上									2	児童アンケートの「学校が楽しい」項目の肯定的回答 70%以上
			1	生活指導夕会での協議・放課後話しタイムの実施状況 80%未満									1	児童アンケートの「学校が楽しい」項目の肯定的回答 70%未満
	○基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。 ①中和スタンダードを励行し、学習規律や生活面での共通理解を図る。特に、気持ちの良い挨拶や返事が自然とできるようにする。	①校門での朝のあいさつ指導を毎日行う。 ①月に1回は全校朝会で、挨拶にまつわる講話を行う。 ①授業中の言葉遣いなど身に付けるべき生活のルールを指導する。	4	管理職、看護当番によるあいさつ指導と生活ルールの徹底 100%	3	4	児童アンケート「自分からすすんであいさつできる」項目の達成率 100%	2	・中和スタンダードを励行し、改めて学習規律や生活指導面での共通理解を図った。 ・校門での挨拶や月曜朝会で挨拶にまつわる話をしたが、効果不十分だった。	B	B	・挨拶はすることしない子の差がはっきりしている。地域も巻き込んで挨拶運動等に取り組みたい。 ・児童も先生もよくあいさつしてくれる。		
			3	管理職、看護当番によるあいさつ指導と生活ルールの徹底 90%以上									3	児童アンケート「自分からすすんであいさつできる」項目の達成率 90%以上
			2	管理職、看護当番によるあいさつ指導と生活ルールの徹底 80%以上									2	児童アンケート「自分からすすんであいさつできる」項目の達成率 80%以上
			1	管理職、看護当番によるあいさつ指導と生活ルールの徹底 80%未満									1	児童アンケート「自分からすすんであいさつできる」項目の達成率 80%未満
	○危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。 ①緊急時の避難行動、集団下校の様子の確認及び安全指導の徹底を図る。 ②危機対応のマニュアルを徹底し、教職員の危機管理意識を高める。	①月1回の安全指導と避難訓練に緊張感をもって取り組む。 ②看護当番、校庭見守り等の徹底と月1回の安全点検の実施	4	安全指導と避難訓練、安全点検の実施状況 100%	4	4	保護者アンケート「安全指導や安全対策の配慮」項目の肯定的回答 90%以上	4	・避難訓練や安全指導で、危機管理に対する児童の意識を高めることができた。さらに、児童一人一人に考えさせるふりかえりを行うことができた。	A	A	・実際のことを想定した訓練は大事なので続けてほしい。		
			3	安全指導と避難訓練、安全点検の実施状況 90%以上									3	保護者アンケート「安全指導や安全対策の配慮」項目の肯定的回答 90%以上
			2	安全指導と避難訓練、安全点検の実施状況 80%以上									2	保護者アンケート「安全指導や安全対策の配慮」項目の肯定的回答 80%以上
			1	安全指導と避難訓練、安全点検の実施状況 80%未満									1	保護者アンケート「安全指導や安全対策の配慮」項目の肯定的回答 80%未満

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
学校 の 管理 運営	○経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。 ①主幹、主任教諭による組織的な体制づくりと４部会の計画的な企画・実施	①主幹会を週に１回以上、主任会を月に２回以上設定し、管理職と主幹教諭。主幹教諭と主任教諭、そして主任教諭同士の横の繋がりを意識した学校運営を行う。	4	主幹会・主任会の実施状況　100%	3	4	教職員自己評価の組織的な教育活動内容項目で達成率　90%以上	4	・Teamsを活用した情報交換を常に実施し、チームとし教育活動に取り組むことができた。しかし、連絡を見逃してしまう教員も見られ、進捗状況確認場を設ける必要性を感じた。	・働き方改革実現に向けて、集合での会議を減らしているが、効率的である一方、集合形式での会議の重要性も浮かび上がってきた。夕会の回数を増やし、進捗状況の確認作業を行う	A	A	・概ね良好とのご意見多い。
			3	主幹会・主任会の実施状況　90%以上		3	教職員自己評価の組織的な教育活動内容項目で達成率　80%以上						
			2	主幹会・主任会の実施状況　80%以上		2	教職員自己評価の組織的な教育活動内容項目で達成率　70%以上						
			1	主幹会・主任会の実施状況　80%未満		1	教職員自己評価の組織的な教育活動内容項目で達成率　70%未満						
	○子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。 ①「よく考えて工夫する子供」を重点目標とし、校内研究を通して、児童の自ら学び考える力の向上を目指す。	①校内研究授業を年６回以上実施し、子供たちが自ら工夫して取り組めるよう、個別最適な学びと協働的な学びの一体化に向けた実践を意識した授業を行う。	4	児童アンケート「工夫して学習している」項目での肯定的回答　90%以上	3	4	地域・保護者アンケート「教育目標」項目で肯定的回答　80%以上	4	・タブレット端末を活用し、個別最適な学びにつながるような授業研究を行うことができた。ロイロノート等のアプリを使い、協働的な学びを意識することができた。	・今後も校内研究を柱にして、個別最適な学びと協働的な学びを一体化していけるような実践を積み重ねていく。次年度は生活科・理科の分野で研究を進める。	A	A	・特段のご意見なし。
			3	児童アンケート「工夫して学習している」項目での肯定的回答　80%以上		3	地域・保護者アンケート「教育目標」項目で肯定的回答　75%以上						
			2	児童アンケート「工夫して学習している」項目での肯定的回答　70%以上		2	地域・保護者アンケート「教育目標」項目で肯定的回答　70%以上						
			1	児童アンケート「工夫して学習している」項目での肯定的回答　70%未満		1	地域・保護者アンケート「教育目標」項目で肯定的回答　70%未満						
	○適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。 ①全教職員がよい教育環境作りを意識し、掲示物等の工夫を行う。	①まなび部による掲示物の年間計画を実施するとともに、全教職員による環境整備を年６回実施する。	4	年間計画・環境整備の実施率　100%	3	4	保護者アンケート「教育環境を整備・活用している」項目の肯定的回答　90%以上	3	・全教職員による環境整備を年３回以上実施し、教室や廊下の環境整備に努めることができた。１５０周年記念行事に向けての環境整備も計画的に行ったので、次年度以降に引き継ぐ。	・周年行事等の資料を整理する中で、これまでの積み重ねは大事だが、整理されていない部分も多々あったので、できる範囲で整理した。今後につなげていきたい。	A	B	・周年の掲示物は、児童の意欲が表れていてよかった。 ・校長室前の掲示物は情報発信の場として充実している。
			3	年間計画・環境整備の実施率　90%以上		3	保護者アンケート「教育環境を整備・活用している」項目の肯定的回答　80%以上						
			2	年間計画・環境整備の実施率　80%以上		2	保護者アンケート「教育環境を整備・活用している」項目の肯定的回答　70%以上						
			1	年間計画・環境整備の実施率　80%未満		1	保護者アンケート「教育環境を整備・活用している」項目の肯定的回答　70%未満						
家庭・ 地域 連携	開校１５０周年記念事業に向けた取組を推進する。	学校だけでなく、地域や保護者を巻き込んだイベントや行事を実施し、周年を盛り上げていく。そのために学校やPTAの周年委員会と地域の協賛会と連携しながら進めていく。	4	各委員会の計画・実施棟の進捗状況100%	4	4	１５０周年諸事業に対する保護者地域アンケートの満足度90%以上	4	・前年度から、周年４部会を立ち上げ、計画的に実施したので、余裕をもって活動することができた。しかし、PTAや地域との折衝に時間を要し、後手に回る場面も見られた。	・コロナ禍を経て、学校を取り巻く環境の変化に戸惑ったが、地域の中にある学校であることを再認識し、今後につなげることができた。	B	B	・周年行事は素晴らしい行事だった。中和小の歴史の重みを感じることができた。
			3	各委員会の計画・実施棟の進捗状況90%以上		3	１５０周年諸事業に対する保護者地域アンケートの満足度85%以上						
			2	各委員会の計画・実施棟の進捗状況80%以上		2	１５０周年諸事業に対する保護者地域アンケートの満足度80%以上						
			1	各委員会の計画・実施棟の進捗状況80%未満		1	１５０周年諸事業に対する保護者地域アンケートの満足度80%以下						
	○教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。 ①学校公開、学校・学年便り、学校情報メール、掲示板、ホームページ等を充実させる	①学校だより、学年だよりの電子化を図り、学校生活の様子を伝える機会を増やす。ホームページの更新頻度を増やす。	4	ホームページの更新を１日１回以上実施	2	4	地域・保護者アンケート「文書や連絡等は分かりやすく内容も適切」項目の肯定的回答　90%以上	4	・ホームページ担当者が１名だったため、更新作業がはかどらなかった。 ・周年に向けて「周年瓦版」のようなものを発行し、学校活動の理解を得られた。	・ホームページをただ更新すればよいと言うわけではないが、古い物がいつまでも掲載されている状況をなくしていく。担当者を増やしたり、操作できる教員を増やすことで対応する。	A	B	・HPの閲覧数表示は、評価の一つとして必要だと思う。
			3	ホームページの更新を３日に１回以上実施		3	地域・保護者アンケート「文書や連絡等は分かりやすく内容も適切」項目の肯定的回答　80%以上						
			2	ホームページの更新を週１回以上実施		2	地域・保護者アンケート「文書や連絡等は分かりやすく内容も適切」項目の肯定的回答　70%以上						
			1	ホームページの更新を週１回以下実施		1	地域・保護者アンケート「文書や連絡等は分かりやすく内容も適切」項目の肯定的回答　70%未満						
	○保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。 ①地域の教材化、地域人材の活用で学びの場や遊びの場の機会を拡充させる。	①放課後学習クラブや中和塾等の学習支援の充実、中和こどもひろば運営委員会と連携し、放課後の遊び場の提供を実施する。	4	放課後活動の実施・人材活用状況90%以上	4	4	保護者アンケート「学校は保護者や地域と積極的に連携・協力し、教育活動を充実させている」項目90%以上	3	・中和こどもひろば運営委員会と連携し、放課後の遊び場の提供を実施することができた。バリエーションに富んだ活動を企画してくれるのでとてもよい。	・放課後学習も含め、課外活動の充実を図れているが、出前授業等で地域人材を発掘したり活用したりすることに課題がある。学運協等でも投げかけ、人材確保に努める。	A	B	・校長をはじめ、先生方が地域行事へ参加してくれるのは有り難い。 ・ふるさとフェスに先生方がブースを開いてくれたことも地域連携に一役買っていると思う。
			3	放課後活動の実施・人材活用状況85%以上		3	保護者アンケート「学校は保護者や地域と積極的に連携・協力し、教育活動を充実させている」項目85%以上						
			2	放課後活動の実施・人材活用状況80%以上		2	保護者アンケート「学校は保護者や地域と積極的に連携・協力し、教育活動を充実させている」項目80%以上						
			1	放課後活動の実施・人材活用状況80%未満		1	保護者アンケート「学校は保護者や地域と積極的に連携・協力し、教育活動を充実させている」項目80%未満						

○令和６年度　学校経営報告のまとめ（総括）

- ・ＩＣＴ機器の活用を図る学習指導の工夫の結果、一定の成果を上げることができた。今年度の課題を踏まえ、タブレットを使うことが目的ではなく、文房具として使いこなし、個別最適な学びに向けた教材整備を実施していく。
- ・記憶定着アプリの活用について、成果と課題を明らかにし、使用を継続していくのか教師・児童・保護者のそれぞれの視点も含め検討し、次年度から使用しない。
- ・児童が自ら考え、工夫し、問題を解決していくことができる場面を、学校全体で意図的、計画的に設定し、指導していけるように、教職員間の共通理解を図り、研修や研究を積み重ねていく。
- ・150周年記念行事等で「チーム中和」を意識して取り組むことで地域や保護者の方々との連携を図ることができた。まだ不足している部分も見られるので、開かれた学校をこれからも目指し、引き続き地域と共に歩む学校にしていく。
- ・今後も、保護者や地域の皆様が学校に対する思いや期待をしっかりと受けとめ、墨田区の伝統校として、邁進していく。